

地理歴史・公民

(2025)

(世界史)

- (注意事項)
- 1 問題文は21ページあります。
 - 2 解答は解答用紙の所定欄に記入してください。下書きは、問題冊子の余白を利用してください。ただし、回収はしませんので採点の対象とはなりません。
 - 3 解答はすべてマークセンス方式となっていますので、解答用紙の注意事項をよく読み解答してください。
 - 4 受験番号・氏名・フリガナは、監督者の指示に従って、解答用紙の所定欄に丁寧に記入してください。
 - 5 解答用紙にマークセンス方式の受験番号欄があります。受験番号をマークする際は濃く丁寧にぬってください。
 - 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページ落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

I 次の文章を読み、それに続く問1～8に答えよ。

前500年、 朝ペルシアの支配下にあった小アジア西岸で、 などのイオニア人諸都市が反乱を起こした。反乱はまもなく鎮圧されたが、ペルシアは反乱を支援したアテネを含めたギリシアに大軍を派遣し、ペルシア戦争が始まった。前490年の の戦いでは、アテネの重装歩兵隊が中心となってペルシア軍をうち破った。前480年、再度来襲したペルシアの大軍は、テルモピュライ（テルモピレー）を守るスパルタ軍を全滅させたのち、アテネを占領、破壊した。しかしアテネ市民はそれに屈せず、 の指導の下に結束し、ギリシア海軍の主力となって の海戦で勝利した。さらにアテネ・スパルタを中心とするギリシア連合軍は前479年、 の戦いでも勝利し、ペルシア軍をギリシア本土から撃退した。こうしてギリシア諸ポリスは独立を守り、また一連の戦いを通じて主力となったアテネの政治的優位が明らかとなった。他方、前431年、今度はアテネとスパルタがギリシアを二分するペロポネソス戦争をおこした。⁽¹⁾

のフィリッポス2世は、前4世紀にギリシアの覇権を握った。フィリッポス2世の死後、その子のアレクサンドロスは、前334年、ギリシアに干渉を続ける 朝ペルシアへの報復を大義名分として、 ・ギリシア連合軍を率いて東方遠征にのり出した。アレクサンドロスは、前330年にペルシアを滅亡させたあとも遠征を続けてインド西部まで軍を進め、中央アジアやインダス川流域にまで及ぶ大帝國を築いた。各地に彼の名を冠した都市アレクサンドリアが建設され、多くのギリシア人が入植したので、ギリシア文化が普及し、オリエントの諸文化と融合して新しいヘレニズム文化が生み出された。アレクサンドロス⁽²⁾がバビロンで若くして死去すると、その領土は彼の部下であった後継者たちによって分割され、アンティゴノス朝 ・セレウコス朝 ・プトレマイオス朝エジプトなどが成立した。

問1 文中の に入る正しい語を次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

- ① ササン
- ② サファヴィー
- ③ アルサケス
- ④ アケメネス（アカイメネス）

問2 文中の b に入る語として正しいものを次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

2

- ① ミレトス
- ② コリントス
- ③ デルフォイ
- ④ テーベ（テーバイ）

問3 文中の c ， e ， f に入る語の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

3

- | | | |
|-----------|---------|---------|
| ① c：サラミス | e：マラトン | f：プラタイア |
| ② c：サラミス | e：プラタイア | f：マラトン |
| ③ c：マラトン | e：サラミス | f：プラタイア |
| ④ c：マラトン | e：プラタイア | f：サラミス |
| ⑤ c：プラタイア | e：サラミス | f：マラトン |
| ⑥ c：プラタイア | e：マラトン | f：サラミス |

問4 文中の d に入る人名として正しいものを、次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

4

- ① ペリクレス
- ② テミストクレス
- ③ クレイステネス
- ④ ペイシストラトス

問5 下線部(1)に関する下のア、イの記述の正誤の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

5

ア：アテネはペロポネソス同盟を結成してスパルタと戦った。

イ：ペロポネソス戦争ではスパルタが勝利した。

- ① アのみ正しい
- ② イのみ正しい
- ③ ア，イともに正しい
- ④ ア，イともに誤っている

問6 文中の g に入る正しい語を次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

6

- ① アルメニア
- ② アテネ
- ③ スパルタ
- ④ マケドニア

問7 下線部(2)に関連する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

7

- ① ポリスの枠にとらわれない生き方を理想とする世界市民主義（コスモポリタニズム）の思想が知識人の間に生まれた。
- ② ヘレニズム時代にはとくに自然科学が発達し、エウクレイデスは今日「ユークリッド幾何学」とよばれる平面幾何学を集大成した。
- ③ ヘレニズム文化は西北インドにも及び、写実的な技法のガンダーラ美術が生まれ、さらに中国・日本にまで影響を与えた。
- ④ 19世紀にローマで発見された「ミロのヴィーナス」には、体をひねった動きの表現にヘレニズム様式の特徴が見られる。

問8 文中の h に入る語として正しいものを、次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

8

- ① パルティア
- ② パルミラ
- ③ バクトリア
- ④ シリア

Ⅱ 次のA～Dの文章を読み、それぞれに続く問1～12に答えよ。

A 隋・唐の時代、日本は朝貢の使節（遣隋使・遣唐使）を送ったが、冊封を求めることはな⁽¹⁾かった。一方、積極的に百済を援助し、アと結ぶことを試み、渤海とも密接に交流した。日本は朝鮮半島への進出をはかったが、密接な交流を重ねていた加羅（任那）が562年にイに滅ぼされ、次いで唐とイの連合軍に663年の白村江の戦いで大敗した結果、失敗におわった。その後、吐蕃の拡大、イによる朝鮮統一、東突厥の再興、渤海の建国といった東部ユーラシアの動きのなかで、遣唐使は唐側に受け入れられた。この交流を通して日本は、律令制などの中国の制度や文化を引き続き受容していった。⁽²⁾

問1 下線部(1)に関連して、次の①～④のうち、唐の冊封を受けていた国として正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

9

- ① 鮮卑
- ② 南詔
- ③ マラッカ王国
- ④ 琉球王国

問2 文中のア，イに入る語の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

10

- ① ア：高麗 イ：高句麗
- ② ア：高麗 イ：新羅
- ③ ア：新羅 イ：高句麗
- ④ ア：新羅 イ：高麗
- ⑤ ア：高句麗 イ：新羅
- ⑥ ア：高句麗 イ：高麗

問3 下線部(2)に関連して、次の①～④のうち、唐の時代についての記述として正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

11

- ① 全国を道・州・県に組織して、地方行政を整え（州県制）、官吏の登用に関して初めて科举制を導入した。
- ② 経典類の編集・研究が進み、孔穎達らによる欽定の注釈書『五経正義』が編集された。
- ③ 律令制においては、律は今日の行政法と民法、令は刑法にあたり、これらを補充するのが格、運用上の規定が式である。
- ④ 玄奘と義浄が日本に伝えた禅宗と浄土宗は、奈良時代の仏教に大きな影響を与えた。

B 日本は894年に遣唐使を停止するが、その後も大陸との貿易はさかんであり、平氏政権は日宋貿易を推進した。モンゴルの襲来の前後にあっても、南宋、そして元との交易は継続され、大量の宋銭や書籍などが輸入され、多くの僧侶が大陸へ渡った。足利義満は、倭寇⁽³⁾に苦しみ明との国交を開き、「日本国王」として明の冊封下に入ることによって勘合貿易を実現させて、明との交易圏を掌握し、朝鮮とは対等な関係で国交を樹立した。しかしその後、豊臣秀吉の朝鮮⁽⁴⁾侵攻に際して朝鮮（李朝）の宗主国である明は援軍を送り、日本と大陸の国交はとだえた。だがそのあとの江戸幕府は、鎖国⁽⁵⁾政策をとりつつも、中国大陆と朝鮮半島などとの交流を絶やしたわけではなかった。

問4 下線部(3)に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

12

- ① 14世紀に西日本の在地の武装した集団が朝鮮と中国の内陸部でおこなった略奪行為は前期倭寇とよばれる。
- ② 明の宣統帝は、倭寇（前期倭寇）の活動をおさえるとともに、交易の自由化がもたらす国内経済の動揺を防ぐために、海禁政策をとった。
- ③ 16世紀に中国、日本などの私貿易商人たちが海禁政策に対抗して武装し、中国の沿岸諸都市でおこなった略奪行為は後期倭寇とよばれる。
- ④ 倭寇（後期倭寇）の撃退によって名声を高めた李自成は、朝鮮半島に新たな王朝をたてた。

問5 下線部(4)に関連する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

13

- ① 豊臣秀吉の朝鮮侵攻は日本では文禄・慶長の役、朝鮮側では壬辰・丁酉倭乱とよばれる。
- ② このとき最盛期を迎えていた明の皇帝は康熙帝であった。
- ③ 李舜臣はダウ船からなる朝鮮水軍を率いて、日本の船団に大きな打撃を与えた。
- ④ 日本軍の侵攻は同時期のオイラトや韃靼の侵入と合わせて北虜南倭とよばれた。

問6 下線部(5)に関連して、「鎖国」政策以降の江戸時代における外国との経済交流の「四つの口」とよばれる窓口として不適切なものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

14

- ① 長崎
- ② 薩摩
- ③ 松前
- ④ 対馬
- ⑤ 堺

C 19世紀になると東アジアの地政学的な環境は大きく変化する。列強により開国を迫られた日本は、明治維新を経て富国強兵・殖産興業の名のもとに近代国家建設をはかった。清は、欧米や日本などとの条約にもとづく関係と、冊封にもとづく関係の双方を調整していく。東アジア諸国間での国境画定の動きが強まるなか、清の最後の主要冊封国であった朝鮮ではいくつかの内乱がおこって混乱をきわめた。それぞれのしかたで朝鮮に介入した日本と清は開戦する事態となったが、日本が勝利して下関条約が結ばれた。

問7 下線部(6)に関連して、1870年代の日本についての事柄として誤っているものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

15

- ① 樺太・千島交換条約の締結
- ② 台湾出兵
- ③ 大日本帝国憲法の発布
- ④ 琉球処分（琉球領有）
- ⑤ 日朝修好条規の締結

問 8 下線部(7)に関連して、19世紀に清が結んだ条約として誤っているものを、次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

16

- ① 望厦条約
- ② 黄埔条約
- ③ アイゲン条約
- ④ キャフタ条約

問 9 下線部(8)に関連して、朝鮮の改革派のうち日本と結ぶ勢力のなかの金玉均らが日本軍の協力を得て閔氏政権打倒のクーデタをおこしたが、清の軍隊の出動によって崩壊した。この出来事を示すものとして正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

17

- ① 東学党の乱（東学の乱）
- ② 戊戌の政変
- ③ 壬午軍乱
- ④ 甲申政変（甲申事変）
- ⑤ 江華島事件

問10 下線部(9)に関連して、この条約の結果についての a と b の記述の正誤の組み合わせとして正しいものを、次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

18

a：清は遼東半島・香港を日本に割譲した。

b：清は朝鮮の独立を認めた。

- ① aのみ正しい
- ② bのみ正しい
- ③ aもbも正しい
- ④ aもbも誤っている

D 第二次世界大戦後、アメリカ合衆国は、日本の民主化・非武装化を進めていたが、中国大陸での共産党の優勢や朝鮮半島の分断を受けて、日本を反共産主義陣営の一員とする政策に転じた。朝鮮戦争は日本に特需をもたらし、同時にアメリカ合衆国の要請を受けて、1950年に警察予備隊が発足し、これが保安隊を経て1954年に自衛隊となった。

問11 下線部(10)に関連する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

19

- ① 中国では、毛沢東を主席、蔣介石を首相とする中華人民共和国が成立した。
- ② 中華人民共和国とソ連との間に中ソ友好同盟相互援助条約が締結された。
- ③ 朝鮮では、戦後すぐ、北緯38度線を境に、南に国連軍、北にソ連軍が進駐して共同統治した。
- ④ 北緯38度線の北側では、ソ連の支援を受けた金正日が率いる朝鮮労働党が朝鮮民主主義人民共和国を成立させた。

問12 下線部(11)に関連して、1950年代の日本に関わる事柄として誤っているものを、次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

20

- ① サンフランシスコ講和会議の開催
- ② 日本の国連加盟
- ③ 日米安全保障条約の締結
- ④ 日韓基本条約の締結

Ⅲ 17～19世紀を中心としたヨーロッパの歴史に関する以下の問1～10に答えよ。

問1 三十年戦争に関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

21

- ① この戦争はプロイセンの属領ベーメン（ボヘミア）のプロテスタントが、カトリック信仰の強制に反抗したのをきっかけにおこった。
- ② この戦争の対立軸の一つはプロテスタント対カトリックであり、カトリックの国デンマークは、プロテスタントの国スウェーデンと戦った。
- ③ カトリックの国のフランスがプロテスタントの国のスウェーデンと同陣営をなしてハプスブルク家と戦ったことから、宗派対立から覇権をめぐる主権国家どうしの国際戦争へと変わっていった。
- ④ ウェストファリア条約において、アウクスブルクの宗教和議の原則は否定され、カトリック優位の体制が再確認された。

問2 次の①～④のうち、ルイ14世治下のフランスに関する記述として正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

22

- ① 宰相マザランが進めた中央集権化政策に対して、高等法院を中心とする貴族らはフロンドの乱をおこした。
- ② ルイ14世はナントの王令によって国内の信仰をカトリックに統一しようとしたために、多くのユグノーの商工業者がオランダやイギリス、プロイセンなどに亡命した。
- ③ 南ネーデルラント継承戦争で、フランスはイギリス・オランダ・オーストリア・プロイセンと戦って勝利し、1713年にユトレヒト条約が結ばれた。
- ④ 七年戦争とフレンチ＝インディアン戦争の終結に際してイギリスとの間で結ばれたパリ条約で、フランスは北米・インドでの優位を確定させた。

問3 ハノーヴァー朝のとき誕生したイギリス初代首相として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

23

- ① ウォルポール
- ② グラッドストン
- ③ ディズレーリ
- ④ ピット
- ⑤ カニング

問4 ポーランド分割に関する a, b の記述の正誤の組み合わせとして正しいものを, 次の①～④のなかからひとつ選び, その番号をマークせよ。

24

a : 弱体化したヤゲウォ (ヤゲロー) 朝に対するコシューシコ (コシチューシコ) の反乱などの混乱に乗じて, 周辺国による分割が2回にわたっておこなわれた。

b : 第2回の分割は, 西ヨーロッパ諸国の関心がフランス革命に向かうなか, オーストリアとプロイセンによっておこなわれた。

- ① a のみ正しい
- ② b のみ正しい
- ③ a も b も正しい
- ④ a も b も誤っている

問5 17～18世紀の文化に関する次の①～④の記述のうち, 正しいものをひとつ選び, その番号をマークせよ。

25

- ① 『人間不平等起源論』などを著した啓蒙思想家のヴォルテールは, 自由平等と人民主権を説いた。
- ② イギリスのフランシス=ベーコンは, 事実の観察を重んじ, そこから一般法則を導く演繹法による経験論を説いた。
- ③ 『経済表』を著したフランスのケネーは, 国家の富の源泉を農業生産に求め, そのために穀物取引の自由化をめざす重農主義をとらえた。
- ④ イギリスの経験論とヨーロッパ大陸の合理論は, 18世紀末のドイツの哲学者ゲーテによって観念論哲学として統合された。

問6 アメリカ独立戦争に際して植民地側に加わって戦ったフランスの自由主義貴族として正しいものを, 次の①～⑤のなかからひとつ選び, その番号をマークせよ。

26

- ① ダントン
- ② ロベスピエール
- ③ ラ=ファイエット
- ④ シェイエス
- ⑤ ミラボー

問7 19世紀のフランスでおこったことに関する次の①～④の記述のうち、正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

27

- ① ナポレオン1世が南大西洋のセントヘレナ島に流されたあと、ルイ16世の弟シャルル10世が王位について、ブルボン朝が復活した。
- ② 国王ルイ18世の厳しい制限選挙制をとる立憲王政のもとで不満が高まり、七月革命がおきてオルレアン家のルイ=フィリップが国王に迎えられた。
- ③ ナポレオン1世の甥にあたるルイ=ナポレオンは、共和国大統領に選出後の1851年にクーデタをおこして独裁権を握り、翌年の国民投票で皇帝となった。
- ④ 普仏戦争のあと、敗戦と講和条約を認めないパリ民衆が蜂起し、パリ=コミューンを宣言して自治政府をつくったが、まもなく政府軍に鎮圧され、第二共和政が成立した。

問8 イギリスのヴィクトリア女王治下での事柄として誤っているものを、次の①～⑤の中からひとつ選び、その番号をマークせよ。

28

- ① ロンドン万国博覧会の開催
- ② 第3回選挙法改正
- ③ 労働組合法の制定
- ④ 第1インターナショナルの結成
- ⑤ ベンガル分割令の発表

問9 次の①～④のうち、19世紀後半におこった出来事に関する記述として正しいものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

29

- ① アイルランドのダブリンで、イギリスからの独立を求めてイースター蜂起がおこった。
- ② イギリスで、改良主義的な労働運動をめざすフェビアン協会が結成された。
- ③ ロシアで、ミールの解体を含むストルイピンの改革がおこなわれた。
- ④ ドイツとフランスの間で、植民地をめぐるモロッコ事件がおこった。

問10 19世紀の文化に関する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

30

- ① ダーウィンが『種の起源』で進化論を提唱すると、それまで聖書の記述を歴史的事実と信じていた人々は大きな衝撃を受け、激しい論争を引き起こした。
- ② ドイツのランケは、厳密な史料批判による科学的研究方法を重視し、近代歴史学の基礎をつくった。
- ③ ミレーやクールベは、啓蒙主義やフランス革命思想の普遍主義・合理主義への反発から生まれたロマン主義絵画の系譜に属する。
- ④ ヘーゲルの弁証法哲学を批判的に継承したマルクスは、史的唯物論（唯物史観）を樹立して、自身の社会主義思想の哲学的基礎とした。

Ⅳ ある大学の歴史関係の授業で、ヨーロッパ連合（EU）をめぐって教授と学生（L, M, N）の間で以下のような質疑応答がおこなわれているものとする。これを読み、それに続く問1～12に答えよ。

教授：少し時間は経ちましたが、2020年1月にイギリスがヨーロッパ連合から正式に離脱しましたね。その後パンデミックやロシアによるウクライナ侵攻などもあって忘れられがちでしたが、このいわゆるブレグジットBrexitは歴史的に見て決して小さくない出来事だったと思います。今日は、ヨーロッパ連合とはどのような歴史的存在なのかという点も含めて、あらためてヨーロッパの一体性のことを考えてみようと思います。これに関して、まずはみなさんの方から自由に質問してみてください。

学生L： a 条約によって大統領や外相にあたるポストが新設されて、ヨーロッパ連合というものが今日ひとつの国家のような体裁をもっていることはわかりますが、そもそもヨーロッパというのは、歴史的に見て一体性をもったのは第二次世界大戦後になってはじめてのことだったのでしょうか。

教授：ヨーロッパの人々がヨーロッパ人としてのアイデンティティをいつどのようにもつようになったのかについては、明確な答えがあるわけではなく、むしろ研究対象のひとつともいえましょう。まず語源的に、ヨーロッパは、ギリシア神話のなかに「エウロペ」というフェニキア王の娘の名として登場しています。⁽¹⁾「エウロペ」がゼウスによってクレタ島に連れ去られ、その息子がミノス王になるというストーリーです。フェニキアの方から見てギリシア世界が「エウロペ」のいるところ、つまりヨーロッパということになり、この神話に立脚すれば、古代ギリシアから古代ローマ、そしてフランク王国へと時代が移るにつれて、この他称が自称になっていったと解釈されます。

学生L：神話ですか。実際に文字としてヨーロッパが使われた痕跡はないのでしょうか。

教授：よくわかりませんが、少なくとも、7世紀が初出とされ中世にしばしば使われた「TOマップ」とよばれる「世界地図」には、「アジア」や「アフリカ」とともに「エウロパEUROPA」というラテン語表記がなされています。また8世紀以降、イスラーム勢力と対峙するようになって、キリスト教世界ではヨーロッパのアイデンティティが意識されるようになってきたといわれています。⁽²⁾

学生M：他方、近世・近代には一般にヨーロッパの各国が次第に主権国家として成長していくと理解しています。そうすると、アイデンティティの枠組みとしてのヨーロッパは認識されなくなるということになりませんか。

教授：必ずしもそういうわけではなく、主権国家の形成に向かう動きが確認される一方、ルネサンスを経てヨーロッパ観念はキリスト教世界と同じ意味で、むしろより強く認識されていきます。さらに16世紀以降、いわゆる大航海時代になると、少なくとも知識人の間では、

ヨーロッパ文明はアジアや「新大陸」に対して優越するというふうにより自己認識し始めます。たとえば b は、その著『法の世界』において、「専制と隷属のアジア」に「自由のヨーロッパ」を対置し、それを風土の違いにより由来するものとしています。

学生M：ヨーロッパ中心主義のあらわれにも見えます。ところで、ヨーロッパの諸国家間での紛争が頻繁な状況をふまえて、自己認識を越えてもっと積極的なヨーロッパ統合論というのは現れなかったのかなと思ったりします。

教授：いいご指摘ですね。たしかにヨーロッパ内では戦争があまりにも多く、それを防ぐための議論はさかんにおこなわれます。⁽³⁾ ですが、統合の青写真ができるまでには時間がかかりました。統合が本格的に議論され提案されるまでには両大戦間期のクーデンホーフ＝カレルギーやブリアンを待たねばなりません。かれらは第一次世界大戦における戦禍の悲惨さに対する強い反省からいわゆる汎ヨーロッパ運動を展開したのでした。しかしこの運動は世界恐慌やナチスの軍事的席捲の影響で頓挫してしまいました。⁽⁵⁾

学生N：その運動は第二次世界大戦後のヨーロッパ統合につながったのでしょうか。

教授：その先駆であったことは間違いないでしょう。いずれにしても第二次世界大戦後、ヨーロッパの統合は、c 条約とともにその明確なロードマップがうち出されました。この条約の締結の前に、6 か国間で石炭・鉄鋼産業を共同管理するヨーロッパ石炭鉄鋼共同体(ECSC)が発足していました。これを全経済分野に広げる c 条約にもとづいて、ヨーロッパ経済共同体(EEC)とヨーロッパ原子力共同体(EURATOM)が結成され、⁽⁷⁾ 1967年にはこれら3つの共同体が合わさってヨーロッパ共同体(EC)となったわけです。

学生N：ヨーロッパでは1980年代末以降に統合が急速に拡大・深化したと聞いたことがあります。

教授：1980年代、多くのヨーロッパ諸国は、1970年代の二度のオイル・ショックからなかなか立ち直れないなか、日本を含む環太平洋経済圏の急伸長という国際経済環境下にありました。そこで、1980年代に12か国にまで拡大していたヨーロッパ共同体は、競争力をつけるためにヒト・モノ・サービスの自由移動をうたった単一欧州議定書に合意し、1992年に d 条約に調印したのです。その翌年発効したこの条約にもとづいて、域内の経済障壁を撤廃して、先ほどL君が述べたように、政治・外交・安全保障も含めた地域統合体であるいまのヨーロッパ連合が発足したことはご承知のとおりです。そして1999年には共通通貨ユーロが導入され、さらに北大西洋条約機構(NATO)の拡大とも相まって、2004年には旧東欧諸国を中心に10か国の新規加盟があり、2014年までに加盟国は28となっていたのです。ナポレオン1世やヒトラーなどは、ある意味で個人的な野望と軍事力によってヨーロッパを統合しようと試みたといえましょう。その点、2つの大戦を経て合意にもとづきながら統合を進めてきたヨーロッパ連合のありかたは、世界史的には大いに評価されてしかるべきだと私は思います。

学生L：ヨーロッパ連合から見れば，この流れに逆行したかたちのブレグジットはその意味で大きな攪乱要因といえるわけですね。

問1 下線部(1)に関連して，ギリシアの神々の系譜をまとめた『神統記』という叙事詩を著した人物として正しいものを，次の①～⑤のなかからひとつ選び，その番号をマークせよ。

31

- ① エウリピデス
- ② タレス
- ③ ホメロス
- ④ ヘシオドス
- ⑤ アイスキュロス

問2 下線部(2)に関連して，8世紀にフランク王国軍がトゥール・ポワティエ間の戦いで戦った相手として正しいものを，次の①～⑤のなかからひとつ選び，その番号をマークせよ。

32

- ① ファーティマ朝
- ② アッバース朝
- ③ アイユーブ朝
- ④ ウマイヤ朝
- ⑤ 西ゴート王国

問3 下線部(3)に関連して，自然法思想を国家間の関係に適用して『戦争と平和の法』を著し，「国際法の祖」（「近代自然法の父」）とよばれる人物として正しいものを，次の①～⑤のなかからひとつ選び，その番号をマークせよ。

33

- ① マキアヴェリ
- ② グロティウス
- ③ スピノザ
- ④ エラスムス
- ⑤ カント

問4 下線部(4)とともにロカルノ条約を成立させるなど協調外交を展開し、ノーベル平和賞を受賞したドイツの政治家として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

34

- ① シュトレゼマン
- ② エーベルト
- ③ カール＝リープクネヒト
- ④ ヒンデンブルク
- ⑤ ケロッグ

問5 下線部(5)に関連する次の①～④の記述のうち、誤っているものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

35

- ① ヒトラーは、ミュンヘン一揆に失敗したあと合法路線に転じ、総選挙に勝利して首相に就任し、その後大統領と首相を兼ねる総統（フューラー）となった。
- ② ヒトラーを総統とする第三帝国は、神聖ローマ帝国、ドイツ帝国に次ぐ、新しい帝国という意味で使われた。
- ③ ナチ党のドイツは、世界恐慌による国民の不満を外にそらすため、エチオピア侵略を強行するとともに、国際連盟を脱退した。
- ④ ナチ党のドイツは、アウトバーンの建設や軍需生産などで失業を克服する一方、多くの政権批判者、ユダヤ人、ロマの人々などを迫害し、強制収容所に送った。

問6 下線部(6)に関連して、この共同管理に関する提案を指すものとして正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

36

- ① ヤング案
- ② ドーズ案
- ③ トルーマン＝ドクトリン
- ④ マーシャル＝プラン
- ⑤ シューマン＝プラン

問7 下線部(7)に関連して、次の①～⑤のうち、このときのヨーロッパ共同体の加盟国ではないものをひとつ選び、その番号をマークせよ。

37

- ① イタリア
- ② オランダ
- ③ オーストリア
- ④ ベルギー
- ⑤ ルクセンブルク

問8 下線部(8)に関連して、1980年代にヨーロッパ共同体に加盟した国として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

38

- ① イギリス
- ② フィンランド
- ③ ポルトガル
- ④ スウェーデン
- ⑤ デンマーク

問9 下線部(9)に関連して、ヨーロッパ連合が発足した1990年代前半に世界でおきた出来事についての記述として正しいものを、次の①～④のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

39

- ① アメリカ合衆国のサブプライム＝ローン問題などの金融危機を契機として、国際金融危機がおこった。
- ② アジア通貨危機を契機として20か国からなる金融に関するG20という国際会議が開催され、EUも参加した。
- ③ アフリカ統一機構（OAU）は、ヨーロッパ連合をモデルとして、アフリカ連合（AU）を結成した。
- ④ 北米では、アメリカ合衆国・カナダ・メキシコが北米自由貿易協定（NAFTA）を結成した。

問10 下線部(a)に関連して、1990年代末に北大西洋条約機構軍が国連にはからずにおこなった空爆の対象となった国として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

40

- ① アルバニア
- ② セルビア
- ③ クロアチア
- ④ ボスニア
- ⑤ スロヴェニア

問11 文中の b に入る人名として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

41

- ① ロック
- ② ホップズ
- ③ ルソー
- ④ ヴォルテール
- ⑤ モンテスキュー

問12 文中の a , c , d に入る適切な語の組み合わせとして正しいものを、次の①～⑥のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

42

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| ① a : マーストリヒト | c : ローマ | d : リスボン |
| ② a : マーストリヒト | c : リスボン | d : ローマ |
| ③ a : ローマ | c : マーストリヒト | d : リスボン |
| ④ a : ローマ | c : リスボン | d : マーストリヒト |
| ⑤ a : リスボン | c : ローマ | d : マーストリヒト |
| ⑥ a : リスボン | c : マーストリヒト | d : ローマ |

V 次の文章を読み、それに続く問1～8に答えよ。

4 次⁽¹⁾に及ぶ中東戦争を経たあと、イスラエル占領下におかれたパレスティナ人は、それまでのようにPLO（パレスティナ解放機構）やアラブ諸国に頼らずに、1987年12月以降、ガザ地区やヨルダン川西岸地区などで ア とよばれる反イスラエル民衆蜂起をおこした。1991年に中東和平会議が開催され、アメリカ合衆国大統領 イ の仲介で、1993年にパレスティナとイスラエルの間で、パレスティナ暫定自治協定（オスロ合意）が結ばれた。2001年にイスラエル首相となったシャロンは、パレスティナ人の所有地にイスラエル人入植地を拡大する政策を推進した。それに対するパレスティナ人の自爆テロ、イスラエル政府による分離壁の建設や報復攻撃がくりかえされ、和平実現には険しいものがある。

イランでは、白色革命が進展するなかで貧富の格差が広がり、同時にイスラームの伝統を軽視する世俗主義に対するムスリムの批判が高まった。この動きを受けて、1979年、イスラーム主義にもとづくイラン=イスラーム革命が達成され、 ウ を最高指導者とするイラン=イスラーム共和国が成立した。これをきっかけに翌年の1980年にイラン=イラク戦争が勃発した。戦争は1988年まで続き、両国とも経済的に疲弊し、過剰な軍備が残った。この戦争で巨額の負債をかかえたイラクは、石油資源の豊かな エ への侵略（1990年）で解消しようとしたが、国連の多国籍軍の介入により失敗した。

2001年9月に発生したいわゆる同時多発テロ事件は、アメリカ合衆国を中心とする世界秩序への挑戦であった。アメリカ合衆国の オ 大統領は、この事件の責任が、 カ の支配組織ターリバーンが保護してきたイスラーム過激派アル=カーイダにあるとし、 カ を攻撃し、ターリバーン政権を打倒した。さらに、 オ 大統領は、北朝鮮・イラン・イラク3国を「悪の枢軸」とよんで非難し、とくにイラクのフセイン政権は国際的なテロ行為に関わり、大量破壊兵器を所有しているとして2003年にイラクへの武力攻撃に踏み切った。⁽²⁾

問1 下線部(1)に関連して、第2次中東戦争のきっかけとなったスエズ運河の国有化を宣言したエジプトの大統領として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

43

- ① ムハンマド=アリー
- ② ムバラク
- ③ サダト
- ④ ナギブ
- ⑤ ナセル

問2 文中の ア に入る適切な語を次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

44

- ① ジハード
- ② ヒジュラ
- ③ インティファーダ
- ④ スーフィズム
- ⑤ ウラービー（オラービー）運動

問3 文中の イ に入る人名として正しいものを次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

45

- ① ケネディ
- ② オバマ
- ③ クリントン
- ④ カーター
- ⑤ ニクソン

問4 文中の ウ に入る人物名として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

46

- ① モサデグ
- ② ホメイニ（ホメイニー）
- ③ パフレヴィー2世
- ④ アフマディネジャド
- ⑤ ラビン

問5 文中の エ に入る国名として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

47

- ① ヨルダン
- ② イエメン
- ③ クウェート
- ④ アラブ首長国連邦（UAE）
- ⑤ カタール

問6 文中の オ に入る人名として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

48

- ① ジョンソン
- ② ブッシュ（父）
- ③ ブッシュ（子）
- ④ トランプ
- ⑤ バイデン

問7 文中の カ に入る国名として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

49

- ① シリア
- ② サウジアラビア
- ③ トルコ
- ④ パキスタン
- ⑤ アフガニスタン

問8 下線部(2)に関連して、このときアメリカ合衆国とともにイラクへの武力攻撃に加わった国として正しいものを、次の①～⑤のなかからひとつ選び、その番号をマークせよ。

50

- ① フランス
- ② イギリス
- ③ イタリア
- ④ ロシア
- ⑤ イラン